

## 施工状況等報告書

平成 31年 4月 26 日

長野県知事 阿部 守一 様

( 佐久市長 柳田 清二 様  
小諸市長 小泉 俊博 様  
御代田町長 小園 拓志 様  
軽井沢町長 藤巻 進 様 )

所在地 長野県佐久市中込 3056 番地佐久市役所内  
名 称 佐久市・北佐久郡環境施設組合  
組合長 柳田 清二

長野県環境影響評価条例第 32 条第 1 項の規定により、下記のとおり送付します

### 記

対 象 事 業 の 名 称	新クリーンセンター建設事業
報 告 対 象 期 間	平成 31 年 1 月 1 日から 平成 31 年 3 月 31 日まで
環境の保全のための措置	詳細は別紙添付資料のとおり
対 象 事 業 の 実 施 状 況	建設地では、施設本体建設工事が行われている。 <b>【施設本体建設工事】</b> 事務所棟基礎工事に着手した。

(備考) 必要に応じ、環境の保全のための措置の状況又は対象事業の実施状況に係る図面又は写真を添付すること。

# 施工状況等報告書添付資料「環境保全措置実施状況一覧表」

期間:平成31年1月1日～平成31年3月31日

環境影響評価項目	保全対象種	措置項目	措置内容	添付書類	
植物	ヤエガワカンバ	成木の移植	3月7日に平成27年4月18日移植個体の状況確認（任意確認） キノコ発生部位除去後の枝先端部分に発生しているキノコに変化無し。果穂（種子）あり。	写真ヤエ-1, 2, 3	
		種子保存及び播種・育苗	3月7日に平成27年4月23日播種個体の育苗状況確認（任意確認） 平成30年3月8日に事業実施区域内に移植（植樹）した幼木3個体に新たな食害は認められず、防獣ネットに異常は見られない。	写真ヤエ-4, 5, 6, 7, 8, 9	
	オニヒョウタンボク	挿し穂採取及び挿し木	3月7日に挿し木用の挿し穂採取 挿し木用の挿し穂を各移植個体から4～5本、計38本（予備2本含む）を採取し、直ちに水揚げを実施した。	写真オニ-1, 2	
			3月8日に挿し木 育苗条件別に挿し木を行った。	写真オニ-3, 4, 5	
	水象	地下水位	事後調査	1月25日に地下水位の事後調査を実施。 調査地点は対象事業実施区域周辺の3地点とした。 各地点の結果は昨年度と同程度であった。 ・調査地点No. 1：789.75m(昨年度同月：788.64m) ・調査地点No. 2：743.37m(昨年度同月：743.43m) ・調査地点No. 3：724.55m(昨年度同月：724.75m)	写真チカ-1, 2
				2月19日に地下水位の事後調査を実施。 調査地点は対象事業実施区域周辺の3地点とした。 各地点の結果は昨年度と同程度であった。 ・調査地点No. 1：786.87m(昨年度同月：788.50m) ・調査地点No. 2：743.33m(昨年度同月：743.38m) ・調査地点No. 3：724.58m(昨年度同月：724.38m)	写真チカ-3
3月28日に地下水位の事後調査を実施。 調査地点は対象事業実施区域周辺の3地点とした。 各地点の結果は昨年度と同程度であった。 ・調査地点No. 1：786.55m(昨年度同月：788.88m) ・調査地点No. 2：743.39m(昨年度同月：743.63m) ・調査地点No. 3：724.64m(昨年度同月：725.25m)				-	

## － 公表・公開情報 －

発行	環境保全措置・事後調査実施状況（概要版）1月号
内容	1 ヤエガワカンバ成木・現場移植幼木の生育調査結果について 2 オニヒョウタンボク（成木）の生育調査結果について 3 ミズオオバコの生育調査結果について 4 ナガミノツルキケマン・キクタニギク・ヌマガヤツリの生育調査結果について
方法	ホームページに掲載、周辺地区に回覧

## 環境保全措置実施状況写真

	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-1
	撮影日	H31.3.7
	平成27年4月18日移植個体の 状況確認(任意確認)  移植木の全景 平成30年11月の状況と比較 して変化無し。果穂(種子)あ り。	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-2
	撮影日	H31.3.7
	平成27年4月18日移植個体の 状況確認(任意確認)  果穂(種子)の状況。	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-3
	撮影日	H31.3.7
	平成27年4月18日移植個体の 状況確認(任意確認)  キノコ発生部位除去後の枝 先端部分に発生しているキノ コに変化無し(矢印部分)。	

## 環境保全措置実施状況写真

	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-4
	撮影日	H31.3.7
	平成27年4月23日播種個体の 育苗状況確認(任意確認)  個体の生育確認及び管理  個体No.③  防獣ネットに異常は見られな い。	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-5
	撮影日	H31.3.7
	平成27年4月23日播種個体の 育苗状況確認(任意確認)  個体の生育確認及び管理  個体No.③  防獣ネット設置後に新たな食 害は認められない。	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-6
	撮影日	H31.3.7
	平成27年4月23日播種個体の 育苗状況確認(任意確認)  個体の生育確認及び管理  個体No.⑤  防獣ネットに異常は見られな い。	

## 環境保全措置実施状況写真

	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-7
	撮影日	H31.3.7
	平成27年4月23日播種個体の 育苗状況確認(任意確認)  個体の生育確認及び管理  個体No.⑤  防獣ネット設置後に新たな食 害は認められない。	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-8
	撮影日	H31.3.7
	平成27年4月23日播種個体の 育苗状況確認(任意確認)  個体の生育確認及び管理  個体No.⑦  防獣ネットに異常は見られな い。	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-9
	撮影日	H31.3.7
	平成27年4月23日播種個体の 育苗状況確認(任意確認)  個体の生育確認及び管理  個体No.⑦  防獣ネット設置後に新たな食 害は認められない。	

# 環境保全措置実施状況写真

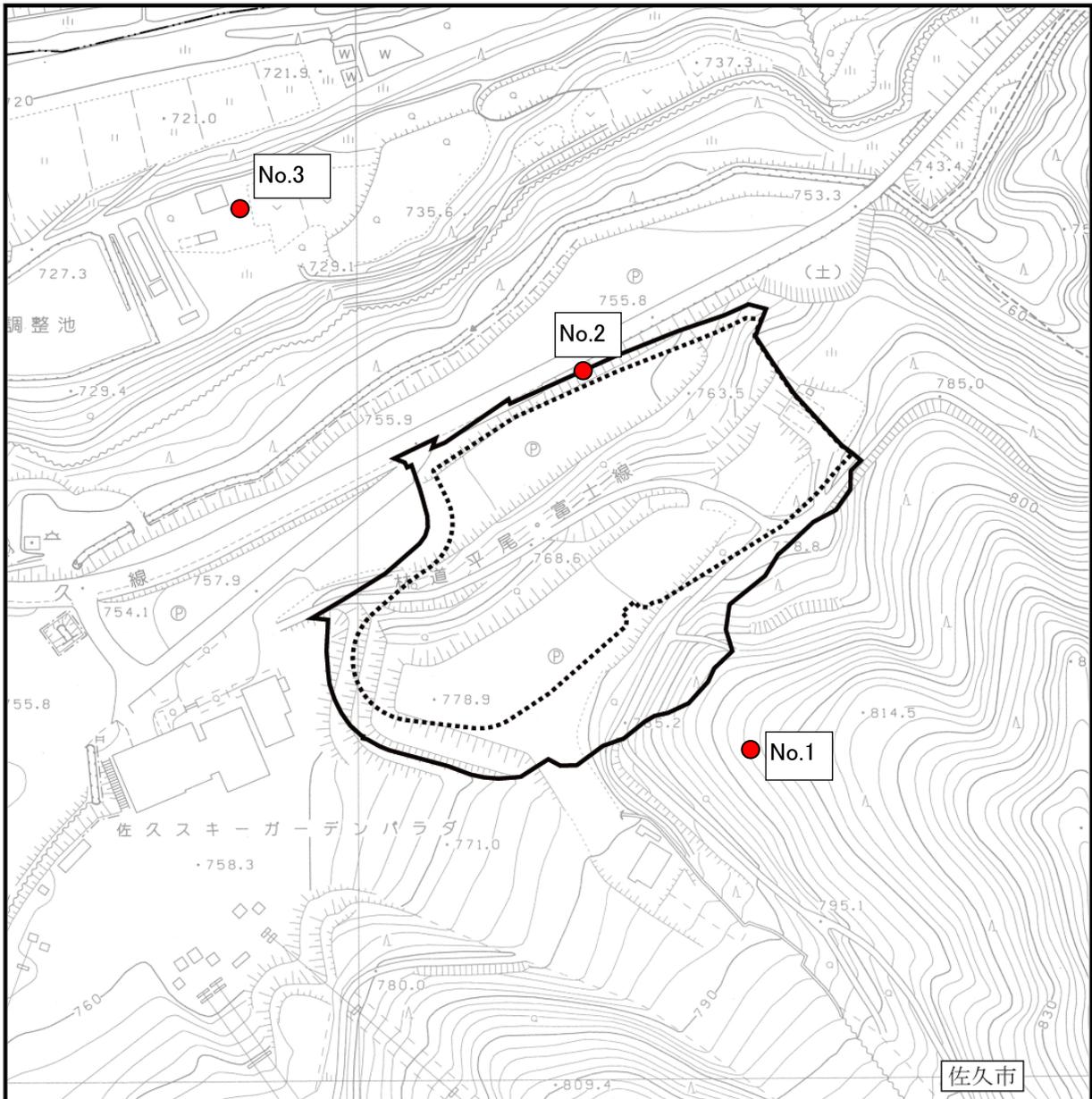
	保 全 対象種 オニヒョウタンボク
	写 真 番 号 オニ-1
	撮影日 H31.3.7
	挿し木用の挿し穂採取 挿し穂採取作業
	保 全 対象種 オニヒョウタンボク
	写 真 番 号 オニ-2
	撮影日 H31.3.7
	挿し木用の挿し穂採取 挿し穂は予備を含めて38本採取し、直ちに水揚げを実施した。
	保 全 対象種 オニヒョウタンボク
	写 真 番 号 オニ-3
	撮影日 H31.3.8
	挿し木 用土等の準備 鹿沼土小粒、赤玉土小粒、赤玉土2/3+腐葉土1/3を駄温鉢平鉢とポリポットに育苗条件別に用意 育苗条件： ・発根まで半日陰、発根後は日向で育苗 ・日向で育苗

# 環境保全措置実施状況写真

	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-4
	撮影日	H31.3.8
	挿し木 挿し木完了 育苗条件: 発根まで半日陰、 発根後は日向で育苗	
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-5
	撮影日	H31.3.8
	挿し木 挿し木完了 育苗条件: 日向で育苗	

## 環境保全措置実施状況写真

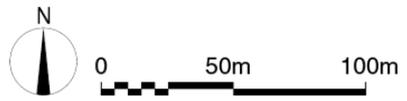
	保 全 対象種	地下水位
	写 真 番 号	チ力-1
	撮影日	H31.1.25
	地下水位調査 調査実施状況 写真は地点No.1	
	保 全 対象種	地下水位
	写 真 番 号	チ力-2
	撮影日	H31.1.25
	地下水位調査 調査実施状況 写真は地点No.2	
	保 全 対象種	地下水位
	写 真 番 号	チ力-3
	撮影日	H31.2.19
	地下水位調査 調査実施状況 写真は地点No.3	



凡 例

-  : 対象事業実施区域
-  : 計画施設用地
-  : 地下水位調査地点

--- : 市町界



地下水位調査地点

平成30年度 新クリーンセンター環境影響評価事後調査(動物・植物)業務 環境保全措置および事後調査の経過一覧表  
 対象種【ヤエガワカンバ】

対象期間【平成30年4月～平成31年3月】

【環境保全措置および事後調査の総括】

移植した成木については平成30年2月にキノコ除去作業を実施したが、8月に再びキノコが発生し、一部の枝の腐朽が進行して、枝から伸びた小枝も枯れている。播種育苗で比較的生育しているのは6個体で、このうち、事象実施区域に移植した3個体の生育は順調であるが、シカによる食害が認められたため10月に防獣ネットを設置した(平成31年3月時点で食害は認められない)。平成30年4月に播種したプランターからは150本以上の幼木が生育し、床蒔きからも1本の幼木が生育している(平成30年11月現在)。

【措置項目】成木の移植

環境保全措置・事後調査の内容	平成30年4月	平成30年5月	平成30年6月	平成30年7月	平成30年8月	平成30年9月	平成30年10月	平成30年11月	平成30年12月～平成31年2月	平成31年3月
【事後調査】平成27年4月18日に対象事業実施区域内より対象事業実施区域外へ移植を行い、以降、生育状況のモニタリングを実施。										
	2018年2月28日のキノコ除去の枝切断により昨年より樹高、枝張りが小さく、胸高直径も胴巻き除去により小さい。なお、樹勢に大きな減衰は見られない。出葉は始まっていない。	十分に展葉して葉の密度も多い。キノコ発生部位除去後の枝先端部分の小枝や葉に異常は見られない。	十分に展葉して葉の密度も多い。一部の枝の葉が枯れている(キノコ発生部位除去後の枝とは別の小枝)。	十分に展葉して葉の密度も多い。一部の枝の葉が枯れている(キノコ発生部位除去後の枝とは別の小枝)。	十分に展葉して葉の密度も多い。新たに一部の枝が折れて葉が枯れていた。キノコ発生部位除去後の枝に新たなキノコが発生が認められた。活力度に大きな変化は見られない。	キノコ発生部位除去後の数箇所の枝先端部分に新たなキノコが発生が認められ、茶色に変色した果実(果穂)も見られるが、活力度に大きな変化は見られない。	一部の枝の腐朽が進行し、枝から伸びた小枝も枯れている。キノコ発生部位除去後の枝先端部に発生したキノコも生育している。黄葉や落葉が始まる。	一部の枝の腐朽が進行し、キノコ発生部位除去後の枝先端部分すべてにキノコが発生。一部にコケの発生も見られる。ほぼ落葉したが、果穂(種子)あり。	(冬季及び降雪等で対象種が休眠期に当たり、生育状況に変化は見られないためモニタリングは実施しない。)	
	撮影日:4月10日	撮影日:5月16日	撮影日:6月5日	撮影日:7月3日	撮影日:8月8日	撮影日:9月7日	撮影日:10月9日	撮影日:11月7日	撮影日:3月7日	

【措置項目】種子の保存及び播種・育苗

環境保全措置・事後調査の内容	平成30年4月	平成30年5月	平成30年6月	平成30年7月	平成30年8月	平成30年9月	平成30年10月	平成30年11月	平成30年12月～平成31年3月	
【事後調査】平成27年4月23日に播種し、以降、生育状況のモニタリングを実施。										
	左からNo.①、②、④、⑥。②と⑥は枯死。①と④は樹高17.5～22cm、根元直径4mmでまだ出葉していない。	左からNo.①、②、④、⑥。②と⑥は枯死。①は先端が折れ、枯死した可能性あり。④は樹高23.5cm、根元直径4mmで出葉。	左からNo.①、②、④、⑥。①と②と⑥は枯死。④は樹高24.5cm、根元直径5mmで展葉。	左からNo.①、②、④、⑥。①と②と⑥は枯死。④は樹高26.5cm、根元直径6mmで展葉。	左からNo.①、②、④、⑥。①と②と⑥は枯死。④は樹高28.0cm、根元直径6mmで枝伸長、展葉。	左からNo.①、②、④、⑥。①と②と⑥は枯死。④は樹高29.0cm、根元直径6mmで枝伸長、展葉。	No.①、②、⑥は枯死。No.④は樹高27.0cm、根元直径6mmで黄葉と落葉が進む。	No.①、②、⑥は枯死。No.④は樹高26.0cm、根元直径6mmで落葉、冬芽形成。	(冬季及び降雪等で対象種が休眠期に当たり、生育状況に変化は見られないためモニタリングは実施しない。)	
	撮影日:4月10日	撮影日:5月21日	撮影日:6月5日	撮影日:7月3日	撮影日:8月8日	撮影日:9月7日	撮影日:10月9日	撮影日:11月7日		

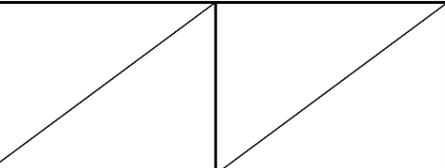
【措置項目】種子の保存及び播種・育苗

環境保全措置・事後調査の内容	平成30年4月	平成30年5月	平成30年6月	平成30年7月	平成30年8月	平成30年9月	平成30年10月	平成30年11月	平成30年12月～平成31年2月	平成31年3月
【事後調査】平成27年4月23日に播種し、平成30年3月8日に生育順調な3個体を対象事業実施区域内に移植。以降、生育状況のモニタリングを実施。										
	No.③ 樹高21cm、根元直径4mm まだ出葉していない。	No.③ 樹高22.8cm、根元直径4mm 出葉。	No.③ 樹高20.0cm、根元直径4mm 枝の先端が折れた。	No.③ 樹高22.5cm、根元直径4mm 枝の先端が折れたが、葉は展葉が進む。	No.③ 樹高42.0cm、根元直径5mm 枝の伸長、葉は展葉が進む。一部の葉に虫食い跡あり。	No.③ 樹高51.0cm、根元直径8mm 枝の伸長、葉は展葉が進む。枝の先端部分にシカと思われる食害あり。	No.③ 樹高52.5cm、根元直径10mm 枝先端部分のシカと思われる食害痕に変化は見られない。10月23日に防獣ネットを設置。	No.③ 樹高50.0cm、根元直径10mm 落葉して冬芽形成。	(冬季及び降雪等で対象種が休眠期に当たり、生育状況に変化は見られないためモニタリングは実施しない。)	
	撮影日:4月10日	撮影日:5月16日	撮影日:6月5日	撮影日:7月3日	撮影日:8月8日	撮影日:9月7日	撮影日:10月9日	撮影日:11月7日	撮影日:3月7日	

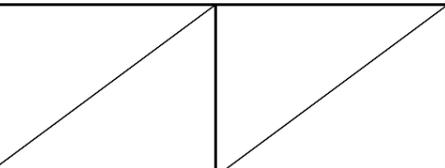
平成30年度 新クリーンセンター環境影響評価事後調査(動物・植物)業務 環境保全措置および事後調査の経過一覧表  
 対象種【ヤエガワカンバ】

対象期間【平成30年4月～平成31年3月】

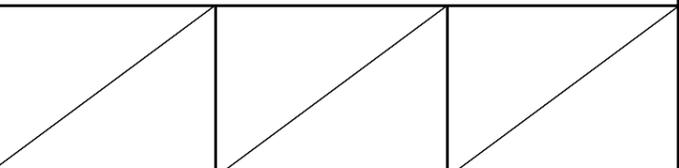
【措置項目】種子の保存及び播種・育苗

環境保全措置・事後調査の内容	平成30年4月	平成30年5月	平成30年6月	平成30年7月	平成30年8月	平成30年9月	平成30年10月	平成30年11月	平成30年12月～平成31年2月	平成31年3月
【事後調査】 平成27年4月23日に播種し、平成30年3月8日に生育順調な3個体を対象事業実施区域内に移植。以降、生育状況のモニタリングを実施。										
	No.⑤ 樹高27cm、根元直径6mm 出葉始まる。	No.⑤ 樹高28.9cm、根元直径6mm 出葉。一部の葉にアブラムシの発生を確認し駆除した。	No.⑤ 樹高28.9cm、根元直径6mm 5月16日にアブラムシの発生を確認して駆除したが、一部の葉が枯れた。	No.⑤ 樹高28.0cm、根元直径6mm アブラムシの発生により一部の葉が枯れたが、健全な葉は展葉が進む。	No.⑤ 樹高32.0cm、根元直径6mm 枝の伸長、葉は展葉が進む。一部の葉に毛虫を確認したが虫食い跡なし。	No.⑤ 樹高42.0cm、根元直径7mm 枝の伸長、葉は展葉が進む。枝の先端部分にシカと思われる食害あり。	No.⑤ 樹高40.0cm、根元直径9mm 枝先端部分にシカと思われる新たな食害痕あり。10月23日に防獣ネットを設置。	No.⑤ 樹高40.0cm、根元直径9mm 落葉して冬芽形成。		(冬季及び降雪等で対象種が休眠期に当たり、生育状況に変化は見られないためモニタリングは実施しない。)
	撮影日:4月10日	撮影日:5月16日	撮影日:6月5日	撮影日:7月3日	撮影日:8月8日	撮影日:9月7日	撮影日:10月9日	撮影日:11月7日		撮影日:3月7日

【措置項目】種子の保存及び播種・育苗

環境保全措置・事後調査の内容	平成30年4月	平成30年5月	平成30年6月	平成30年7月	平成30年8月	平成30年9月	平成30年10月	平成30年11月	平成30年12月～平成31年2月	平成31年3月
【事後調査】 平成27年4月23日に播種し、平成30年3月8日に生育順調な3個体を対象事業実施区域内に移植。以降、生育状況のモニタリングを実施。										
	No.⑦ 樹高52.5cm、株立ち(根元直径7mm、4mm、6mm) まだ出葉していない。	No.⑦ 樹高53.8cm、株立ち(根元直径7mm、4mm、6mm) 十分に出葉。	No.⑦ 樹高53.8cm、株立ち(根元直径7mm、4mm、6mm) 一部の葉に虫食いが見られる。	No.⑦ 樹高55.0cm、株立ち(根元直径10mm、5mm、6mm) 多くの葉の展葉が進む。	No.⑦ 樹高58.0cm、株立ち(根元直径13mm、6mm、7mm) 展葉が進み、根元直径も太くなる。	No.⑦ 樹高60.0cm、株立ち(根元直径14mm、7mm、10mm) 枝の伸長、葉は展葉が進む。枝の先端部分にシカと思われる食害あり。	No.⑦ 樹高52.5cm、株立ち(根元直径14mm、7mm、11mm) 枝先端部分にシカと思われる新たな食害痕あり。10月23日に防獣ネットを設置。	No.⑦ 樹高52.5cm、株立ち(根元直径14mm、7mm、11mm) 落葉して冬芽形成。		(冬季及び降雪等で対象種が休眠期に当たり、生育状況に変化は見られないためモニタリングは実施しない。)
	撮影日:4月10日	撮影日:5月16日	撮影日:6月5日	撮影日:7月3日	撮影日:8月8日	撮影日:9月7日	撮影日:10月9日	撮影日:11月7日		撮影日:3月7日

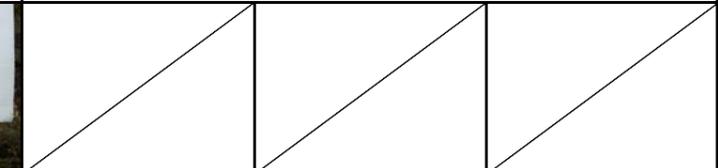
【措置項目】種子の保存及び播種・育苗

環境保全措置・事後調査の内容	平成30年4月	平成30年5月	平成30年6月	平成30年7月	平成30年8月	平成30年9月	平成30年10月	平成30年11月	平成30年12月～平成31年3月
【事後調査】 平成28年4月18日に播種し、以降、生育状況のモニタリングを実施。									
	No.①(左)樹高12.0cm、根元直径4mmで出葉始まる。 No.②(右)樹高12.0cm、根元直径3mmでまだ出葉していない。	No.①(左)樹高13.5cm、根元直径4mmで出葉。 No.②(右)出葉なし。枯死した可能性あり。	No.①(左)樹高17.5cm、根元直径5mmで展葉。 No.②(右)枯死。	No.①(左)樹高23.0cm、根元直径6mmで展葉。 No.②(右)枯死。	No.①(左)樹高31.0cm、根元直径6mmで枝伸長、展葉。 No.②(右)枯死。	No.①(左)樹高32.0cm、根元直径6mmで枝伸長、展葉。 No.②(右)枯死。	No.①(左)樹高34.5cm、根元直径8mmで枝伸長、黄葉始まる。 No.②(右)枯死。	No.①(左)樹高34.0cm、根元直径9mmで、黄葉、落葉始まる。 No.②(右)枯死。	
	撮影日:4月10日	撮影日:5月21日	撮影日:6月5日	撮影日:7月3日	撮影日:8月8日	撮影日:9月7日	撮影日:10月9日	撮影日:11月7日	

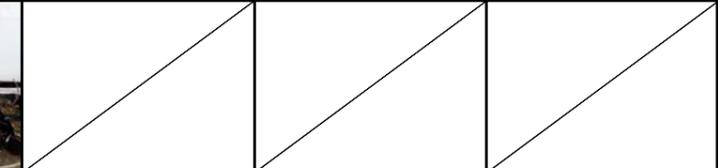
平成30年度 新クリーンセンター環境影響評価事後調査(動物・植物)業務 環境保全措置および事後調査の経過一覧表  
 対象種【ヤエガワカンバ】

対象期間【平成30年4月～平成31年3月】

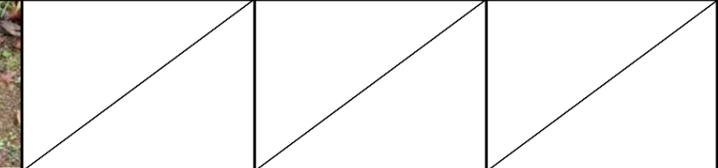
【措置項目】種子の保存及び播種・育苗

環境保全措置・事後調査の内容	平成30年4月	平成30年5月	平成30年6月	平成30年7月	平成30年8月	平成30年9月	平成30年10月	平成30年11月	平成30年12月～平成31年3月
【事後調査】平成29年4月21日にプランターへ播種し、以降、生育状況のモニタリングを実施。									
	プランターからポットへ植え替えを行う。樹高9.0cm、根元直径3mmで出葉始まる。	樹高9.0cm、根元直径3mmで出葉。展葉進む。	樹高12.0cm、根元直径4mmで展葉。	樹高20.0cm、根元直径5mmで展葉。	樹高26.0cm、根元直径5mmで枝伸長、展葉。	樹高29.0cm、根元直径7mmで枝伸長、展葉。	樹高29.5cm、根元直径7mmで枝伸長、黄葉始まる。	樹高29.5cm、根元直径7mmで、黄葉、落葉始まる。	(冬季及び降雪等で対象種が休眠期に当たり、生育状況に変化は見られないためモニタリングは実施しない。)
	撮影日:4月10日	撮影日:5月21日	撮影日:6月5日	撮影日:7月3日	撮影日:8月8日	撮影日:9月7日	撮影日:10月9日	撮影日:11月7日	

【措置項目】種子の保存及び播種・育苗

環境保全措置・事後調査の内容	平成30年4月	平成30年5月	平成30年6月	平成30年7月	平成30年8月	平成30年9月	平成30年10月	平成30年11月	平成30年12月～平成31年3月
【事後調査】平成30年4月10日にプランターへ播種し、以降、生育状況のモニタリングを実施。									
	移植した成木から平成30年2月26日に種子を採取し、プランターへ播種した。	ヤエガワカンバの可能性のある発芽(双葉)を150前後確認。	ヤエガワカンバの可能性のある発芽(双葉)を200以上確認。	ヤエガワカンバの可能性のある発芽(双葉)を150以上確認。展葉が進む。	ヤエガワカンバの可能性のある発芽を150以上確認。本葉数が5枚に増える。	ヤエガワカンバの可能性のある発芽を150以上確認。本葉数が6枚に増える。	ヤエガワカンバの可能性のある幼木150本以上。本葉数6枚。黄葉と落葉始まる。	ヤエガワカンバの可能性のある幼木150本以上。落葉。	(冬季及び降雪等で対象種が休眠期に当たり、生育状況に変化は見られないためモニタリングは実施しない。)
	撮影日:4月10日	撮影日:5月21日	撮影日:6月5日	撮影日:7月3日	撮影日:8月8日	撮影日:9月7日	撮影日:10月9日	撮影日:11月7日	

【措置項目】種子の保存及び播種・育苗

環境保全措置・事後調査の内容	平成30年4月	平成30年5月	平成30年6月	平成30年7月	平成30年8月	平成30年9月	平成30年10月	平成30年11月	平成30年12月～平成31年3月
【事後調査】平成30年4月10日に床蒔きし、以降、生育状況のモニタリングを実施。									
	移植した成木から平成30年2月26日に種子を採取し、床蒔きした。	発芽は確認できない。	発芽は確認できない。	発芽は確認できない。	発芽は確認できない。	ヤエガワカンバの可能性のある発芽を1個体確認(矢印部分)。	ヤエガワカンバの可能性のある発芽1個体(矢印部分)。	ヤエガワカンバの可能性のある発芽1個体(矢印部分)。落葉。	(冬季及び降雪等で対象種が休眠期に当たり、生育状況に変化は見られないためモニタリングは実施しない。)
	撮影日:4月10日	撮影日:5月21日	撮影日:6月5日	撮影日:7月3日	撮影日:8月8日	撮影日:9月7日	撮影日:10月9日	撮影日:11月7日	

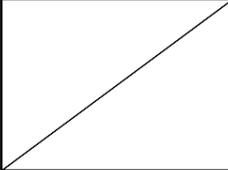
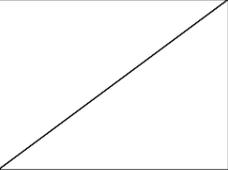
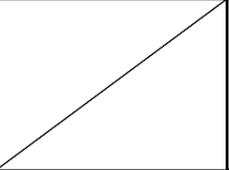
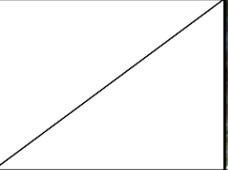
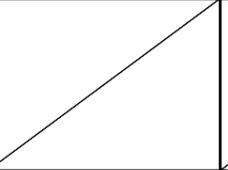
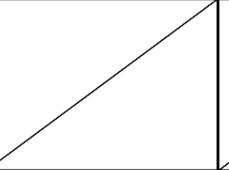
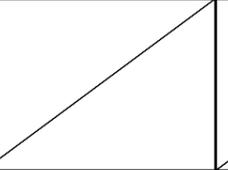
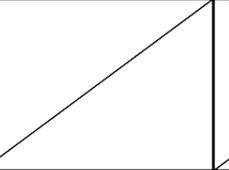
# 平成30年度 新クリーンセンター環境影響評価事後調査(動物・植物)業務 環境保全措置および事後調査の経過一覧表 対象種【オニヒョウタンボク】

対象期間【平成30年5月～平成31年3月】

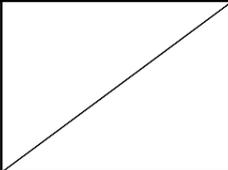
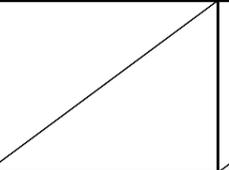
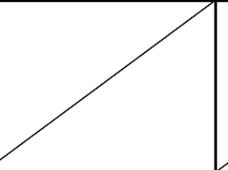
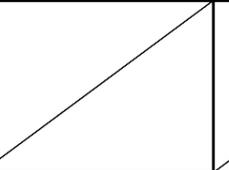
## 【環境保全措置および事後調査の総括】

移植した成木の生育は順調である。播種育苗については1個体のみ芽生えが生育しているが、挿し木は2本が生育している(平成30年11月現在)。播種育苗及び挿し木については良好な成果が得られないため、平成30年11月に協議を行い、今後は播種育苗は行わず、挿し木について生存率の高い方法(用土や日当たり条件等)を探りながら実施することとした。これに基づき、平成31年3月に用土や鉢、日当たり条件を変えて36本の挿し木を行った。

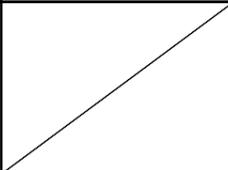
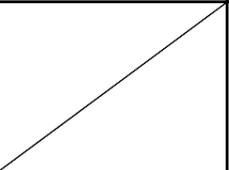
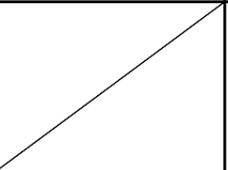
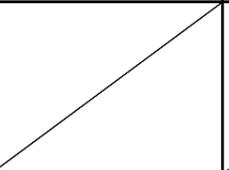
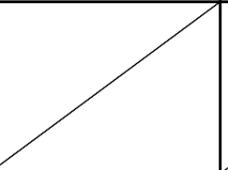
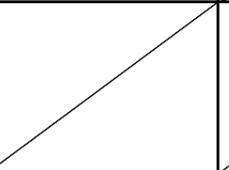
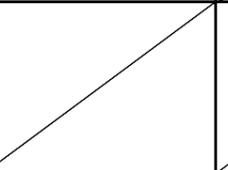
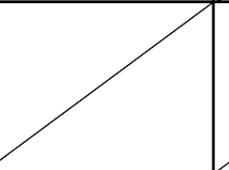
## 【措置項目】成木の移植 ※成木の生育状況が順調であることからモニタリングは平成30年5月と9月に実施。

環境保全措置・事後調査の内容	平成30年4月	平成30年5月	平成30年6月	平成30年7月	平成30年8月	平成30年9月	平成30年10月	平成30年11月	平成30年12月～平成31年3月	
【事後調査】 平成27年4月20日に対象事業実施区域より対象事業実施区域外へ移植を行い、以降、生育状況のモニタリングを実施。										
		全ての個体で順調に展葉して結実している。				一部に黄葉やカビによる白斑が認められる。				
		撮影日:5月16日				撮影日:9月7日				

## 【措置項目】個体の生育確認及び管理

環境保全措置・事後調査の内容	平成30年4月	平成30年5月	平成30年6月	平成30年7月	平成30年8月	平成30年9月	平成30年10月	平成30年11月		
【事後調査】 平成27年7月15日にプランターへ播種し、以降、生育状況のモニタリングを実施。										
		①(左)樹高5.0cm、根元直径4mmで出葉 ②(右)枯死	①(左)樹高6.5cm、根元直径4mmで展葉進む ②(右)枯死	①(左)樹高6.5cm、根元直径4mmで展葉進む ②(右)枯死	①(左)樹高5.5cm、根元直径4mmで枯死の可能性あり。 ②(右)枯死	①(左)樹高4.0cm、根元直径4mmで枯死した。 ②(右)枯死	①(左)枯死 ②(右)枯死			
		撮影日:5月21日	撮影日:6月5日	撮影日:7月3日	撮影日:8月8日	撮影日:9月7日	撮影日:10月9日			

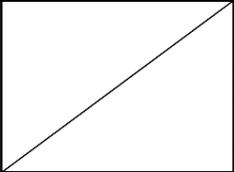
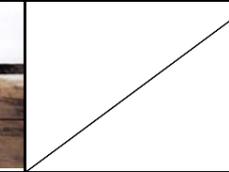
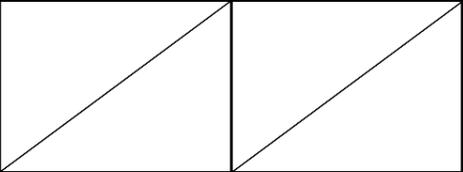
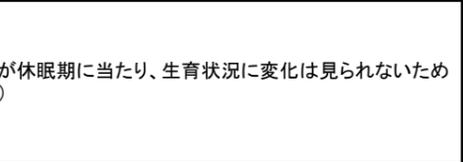
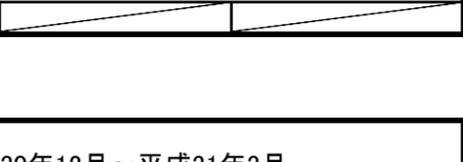
## 【措置項目】個体の生育確認及び管理

環境保全措置・事後調査の内容	平成30年4月	平成30年5月	平成30年6月	平成30年7月	平成30年8月	平成30年9月	平成30年10月	平成30年11月		
【事後調査】 平成28年7月6日にプランターへ播種し、以降、生育状況のモニタリングを実施。										
		発芽は確認できない。	発芽は確認できない。							
		撮影日:5月21日	撮影日:6月5日							

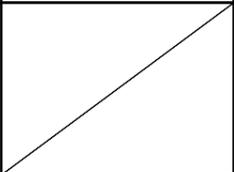
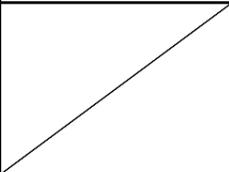
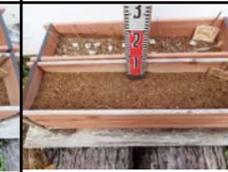
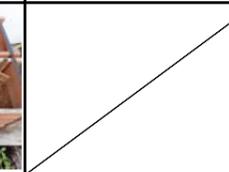
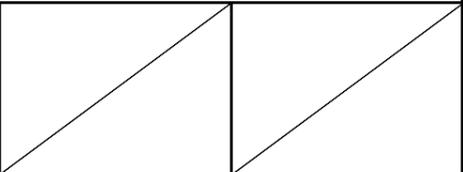
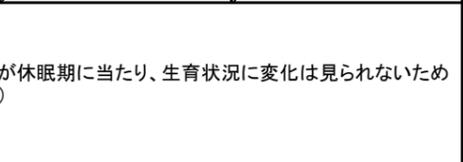
平成30年度 新クリーンセンター環境影響評価事後調査(動物・植物)業務 環境保全措置および事後調査の経過一覧表  
 対象種【オニヒョウタンボク】

対象期間【平成30年5月～平成30年11月】

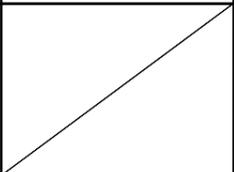
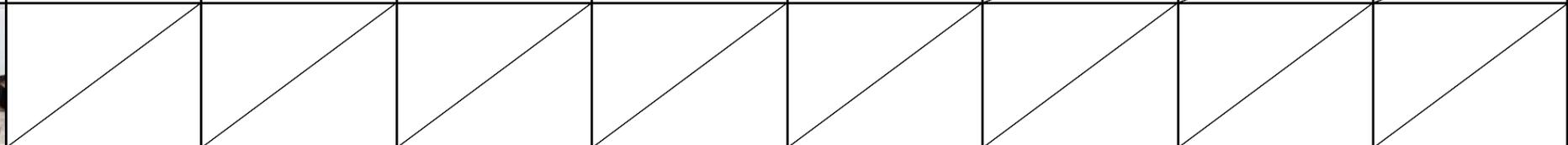
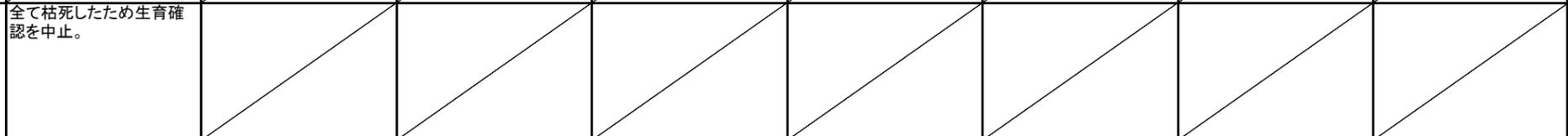
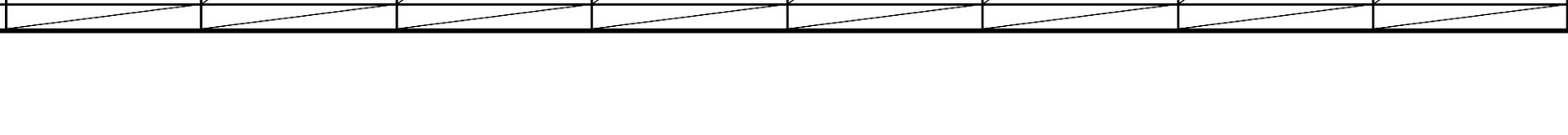
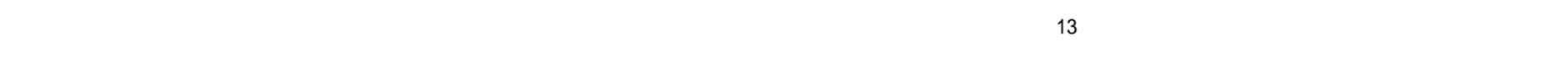
【措置項目】個体の生育確認及び管理

環境保全措置・事後調査の内容	平成30年4月	平成30年5月	平成30年6月	平成30年7月	平成30年8月	平成30年9月	平成30年10月	平成30年11月	平成30年12月～平成31年3月				
【事後調査】 平成29年6月29日に新たに種子20個をプランターに播種し、以降、生育状況のモニタリングを実施。													
		No.①(左)枯死 No.②(中)芽生え、高さ1cm、根元直径1mm No.③(右)芽生え、高さ1cm、根元直径1mm	No.①(左)枯死 No.②(中)芽生え、高さ1.2cm、根元直径1mm No.③(右)芽生え、高さ1cm、根元直径1mm	No.①(左)枯死 No.②(中)芽生え、高さ2.0cm、根元直径1mm No.③(右)芽生え、高さ1.5cm、根元直径1mm	No.①(左)枯死 No.②(中)高さ2.0cm、根元直径1mm。枯死の可能性あり。 No.③(右)芽生え、高さ1.5cm、根元直径1mm	No.①(左)枯死 No.②(中)枯死 No.③(右)芽生え、高さ1.5cm、根元直径1mm	No.①(左)枯死 No.②(中)枯死 No.③(右)芽生え、高さ1.5cm、根元直径1mm	No.①(左)枯死 No.②(中)枯死 No.③(右)芽生え、高さ1.5cm、根元直径1mm	No.①(左)枯死 No.②(中)枯死 No.③(右)芽生え、高さ1.5cm、根元直径1mm				(冬季及び降雪等で対象種が休眠期に当たり、生育状況に変化は見られないためモニタリングは実施しない。)
		撮影日:5月21日	撮影日:6月5日	撮影日:7月3日	撮影日:8月8日	撮影日:9月7日	撮影日:10月9日	撮影日:11月7日					

【措置項目】個体の生育確認及び管理

環境保全措置・事後調査の内容	平成30年4月	平成30年5月	平成30年6月	平成30年7月	平成30年8月	平成30年9月	平成30年10月	平成30年11月	平成30年12月～平成31年3月				
【事後調査】 平成30年6月19日に新たに種子20個をプランターへ播種し、以降、生育状況のモニタリングを実施。													
			播種の実施。	発芽は確認できない。	発芽は確認できない。	発芽は確認できない。	発芽は確認できない。	発芽は確認できない。	発芽は確認できない。				(冬季及び降雪等で対象種が休眠期に当たり、生育状況に変化は見られないためモニタリングは実施しない。)
			撮影日:6月19日	撮影日:7月3日	撮影日:8月8日	撮影日:9月7日	撮影日:10月9日	撮影日:11月7日					

【措置項目】個体の生育確認及び管理

環境保全措置・事後調査の内容	平成30年4月	平成30年5月	平成30年6月	平成30年7月	平成30年8月	平成30年9月	平成30年10月	平成30年11月	平成30年12月～平成31年3月					
【事後調査】 平成28年3月30日に10本を挿し木し、以降、生育状況のモニタリングを実施。														
		全て枯死した。	全て枯死した。										全て枯死したため生育確認を中止。	(冬季及び降雪等で対象種が休眠期に当たり、生育状況に変化は見られないためモニタリングは実施しない。)
		撮影日:5月21日	撮影日:6月5日											

平成30年度 新クリーンセンター環境影響評価事後調査(動物・植物)業務 環境保全措置および事後調査の経過一覧表  
 対象種【オニヒョウタンボク】

対象期間【平成30年5月～平成30年11月】

【措置項目】個体の生育確認及び管理

環境保全措置・事後調査の内容	平成30年4月	平成30年5月	平成30年6月	平成30年7月	平成30年8月	平成30年9月	平成30年10月	平成30年11月	平成30年12月～平成31年3月	
【事後調査】 平成29年3月14日に20本を挿し木し(発根促進剤使用)、以降、生育状況のモニタリングを実施。										
		挿し木20本の内、2本が生育(樹高21.0cm、根元直径3mm。樹高16.5cm、根元直径3mm)	挿し木20本の内、2本が生育(樹高21.0cm、根元直径3mm。樹高19.5cm、根元直径3mm)中央の挿し木に種子1個結実。	挿し木20本の内、2本が生育左:樹高21.0cm、根元直径4mm。右:樹高19.5cm、根元直径3mm(種子1個は成熟しなかった)	挿し木20本の内、2本が生育左:樹高21.0cm、根元直径4mm。右:樹高19.5cm、根元直径5mm。	挿し木20本の内、2本が生育左:樹高22.0cm、根元直径4mm。落葉、冬芽あり。右:樹高20.5cm、根元直径5mm。	挿し木20本の内、2本が生育左:樹高22.0cm、根元直径4mm。落葉、冬芽あり。右:樹高17.5cm、根元直径5mm。落葉始まる。冬芽あり。	挿し木20本の内、2本が生育左:樹高12.0cm、根元直径4mm。落葉、冬芽あり。先端が枯れて折れる。右:樹高17.5cm、根元直径5mm。落葉、冬芽あり。	(冬季及び降雪等で対象種が休眠期に当たり、生育状況に変化は見られないためモニタリングは実施しない。)	
		撮影日:5月21日	撮影日:6月5日	撮影日:7月3日	撮影日:8月8日	撮影日:9月7日	撮影日:10月9日	撮影日:11月7日		

【措置項目】個体の生育確認及び管理

環境保全措置・事後調査の内容	平成30年4月	平成30年5月	平成30年6月	平成30年7月	平成30年8月	平成30年9月	平成30年10月	平成30年11月	平成30年12月～平成31年3月	
【事後調査】 平成30年3月8日に20本を挿し木(発根促進剤使用)。										
		挿し木20本の内、10本で出葉。	挿し木20本の内、9本で展葉進む。	挿し木20本の内、6本で展葉。	挿し木20本の内、5本で葉が認められる。	挿し木20本の内、生育していた5本も落葉。枯死した可能性あり。	挿し木20本の内、生育していた5本も落葉し、冬芽無し。枯死した。	全て枯死したため生育確認を中止。		
		撮影日:5月21日	撮影日:6月5日	撮影日:7月3日	撮影日:8月8日	撮影日:9月7日	撮影日:10月9日			

【措置項目】個体の生育確認及び管理

環境保全措置・事後調査の内容	平成30年4月	平成30年5月	平成30年6月	平成30年7月	平成30年8月	平成30年9月	平成30年10月	平成30年11月	平成31年3月	
【事後調査】 平成31年3月8日に36本を挿し木(発根促進剤使用)。										
										挿し木の生存率を上げるため、用土、鉢、日当たり、それぞれの条件を変えて挿し穂を行った。挿し穂数は36本。
										撮影日:3月8日

# 平成30年度 新クリーンセンター環境影響評価事後調査(動物・植物)業務 環境保全措置および事後調査の経過一覧表 対象種【ベニモンマダラ(クサフジ)】

対象期間【平成30年5月～平成30年9月】

## 【環境保全措置および事後調査の総括】

播種育苗については5個体が発芽したが全て枯死した。ベニモンマダラ移殖先の平尾用水法面ではクサフジが順調に生育し、クサフジの植被面積を計測したところ、約17.0m<sup>2</sup>で、昨年度(約7.8m<sup>2</sup>)の2倍以上の面積に広がっていた。ベニモンマダラの生息調査では、平成30年6月に平尾用水法面で幼虫3個体、対岸の平尾用水右岸側で幼虫1個体を確認したが、7月に実施した成虫の生息調査では個体を確認できなかった(幼虫を移殖した佐久スキーガーデンバラダのリフト付近やゲレンデ付近では計49個体の成虫を確認)。

## 【措置項目】生息基盤の移殖

環境保全措置・事後調査の内容	平成30年4月	平成30年5月	平成30年6月	平成30年7月	平成30年8月	平成30年9月				
【事後調査】 平成29年11月17日にクサフジの種子を播種し、以降、生育状況のモニタリングを実施。	/	/				/	/	/	/	/
			20ポットの内、4ポットから計5個体が発芽。	20ポットの内、3ポットから計3個体が生育。	全て枯死した。	発芽が確認されないため生育確認を中止。				
			撮影日:6月5日	撮影日:7月3日	撮影日:8月8日					

◆施工状況等報告書添付資料「対象事業の実施状況一覧表」

1. 新クリーンセンター整備スケジュール(案)

区分	平成26年度				平成27年度				平成28年度				平成29年度				平成30年度				平成31年度				平成32年度																							
	4	6	8	10	12	2	4	6	8	10	12	2	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
環境影響評価手続	★ 予測評価、準備書準備				★ 評価書手続				★ 施工状況等報告書				★ 事後調査報告書				★ 事後調査報告書				★ 事後調査報告書				★ 事後調査報告書				★ 事後調査報告書				★ 事後調査報告書				★ 事後調査報告書				★ 事後調査報告書							
都市計画決定手続等					★ 都市計画決定手続				★ 都市計画決定手続				★ 都市計画決定手続				★ 都市計画決定手続				★ 都市計画決定手続				★ 都市計画決定手続				★ 都市計画決定手続				★ 都市計画決定手続				★ 都市計画決定手続				★ 都市計画決定手続							
施設用地造成工事	★ 地質調査				★ 造成工事費積算・入札準備・契約				★ 入札公告				★ 事業者決定				★ 施設用地造成工事				★ 施設用地造成工事				★ 施設用地造成工事				★ 施設用地造成工事				★ 施設用地造成工事				★ 施設用地造成工事				★ 施設用地造成工事							
施設本体建設工事	★ 事業方式検討調査				★ 事業方式(DBO)決定				★ 施設建設・運営事業者選定				★ 入札公告				★ 事業者決定				★ 工事着手				★ 実施設計・施設本体建設工事				★ 実施設計・施設本体建設工事				★ 実施設計・施設本体建設工事				★ 実施設計・施設本体建設工事				★ 実施設計・施設本体建設工事				★ 実施設計・施設本体建設工事			

2. 対象事業の実施状況一覧

年度 回数 報告対象期	平成27年度				平成28年度				平成29年度				平成30年度				平成31年度				平成32年度									
	第1回報告 4月～6月	第2回報告 7月～9月	第3回報告 10月～12月	第4回報告 1月～3月	第5回報告 4月～6月	第6回報告 7月～9月	第7回報告 10月～12月	第8回報告 1月～3月	第9回報告 4月～6月	第10回報告 7月～9月	第11回報告 10月～12月	第12回報告 1月～3月	第13回報告 4月～6月	第14回報告 7月～9月	第15回報告 10月～12月	第16回報告 1月～3月	第17回報告 4月～6月	第18回報告 7月～9月	第19回報告 10月～12月	第20回報告 1月～3月	第21回報告 4月～6月	第22回報告 7月～9月	第23回報告 10月～12月	第24回報告 1月～3月						
実施状況	現在、造成工事等については、未着手である。 【都市計画決定手続】平成27年7月8日付で本事業に係る都市計画が決定。 【敷地造成工事】造成計画の精査を実施。また、造成工事費の積算を行っている。	現在、造成工事等については、未着手である。 【用地取得に係る税務署事前協議】平成27年8月19日付で本事業に係る用地取得のための税務署事前協議を開始。 【敷地造成工事】造成計画の精査を実施。また、造成工事費の積算を行っている。	現在、造成工事等については、未着手である。 【用地取得関係】平成27年11月26日付で本事業に係る用地取得のための税務署事前協議が完了。法人及び個人地権者と用地取得に係る契約を締結し、用地取得手続が概ね完了している。 【敷地造成工事】造成工事費の積算を行い、精査を実施している。	現在、造成工事等については、未着手である。 【敷地造成工事】平成28年3月14日付で入札公告、同3月30日に入札が行われた。残土運搬先について、該当する個人地権者へ説明。一部から了承を得られた。 【施設本体建設工事】平成28年3月14日付で入札公告、参加表明締切を同4月28日に予定している。	平成28年6月6日、敷地造成工事に着手した。同日付で「対象事業着手報告書」を県へ提出した。 【敷地造成工事】6月は準備工として、敷地内の伐採と測量作業を行った。 【施設本体建設工事】平成28年4月28日付で入札参加表明を締切り、同6月27日付で提案書の提出を受付けた。	建設予定地では、敷地造成工事が行われている。 【敷地造成工事】敷地の掘削を開始した。管渠工事が完了した。 【施設本体建設工事】平成28年8月9日に開札及び総合評価を実施した。同9月1日、落札者決定について公表した。	建設予定地では、敷地造成工事が行われている。 【敷地造成工事】掘削が続いている。 【施設本体建設工事】平成28年10月25日建設請負契約を締結。実施設計協議を開始した。	建設予定地では、敷地造成工事が行われている。 【敷地造成工事】テールアルメ擁壁の地盤改良の準備を進め、開始した。 【施設本体建設工事】実施設計協議を継続中。	建設予定地では、敷地造成工事が行われている。 【敷地造成工事】テールアルメ擁壁の地盤改良を終え、擁壁本体の施工に着手した。 【施設本体建設工事】実施設計協議を継続中。 【植栽工事】隣接地との境界へ植樹を開始した。	建設予定地では、敷地造成工事が行われている。 【敷地造成工事】テールアルメ擁壁の一部が、最上段まで積み上がった。ブロック積工及び法面工に着手した。 【施設本体建設工事】実施設計協議を継続中。 【植栽工事】隣接地との境界への植樹が完了した。	建設予定地では、敷地造成工事が行われている。 【敷地造成工事】テールアルメ擁壁が完成し、敷地造成工事は、わずかな排水路工事を残すのみとなった。 【施設本体建設工事】実施設計が完了した。平成29年12月8日に行った建築確認の申請について、平成30年1月31日に手続きが完了した。公害防止関係、廃棄物の処理及び清掃に関する法律関係の届出等、監督官公庁への手続きが完了した。平成30年3月27日より山留工事に着手した。	建設地では、施設本体建設工事が行われている。 【施設本体建設工事】5月より杭工事に着手した。5月末よりごみピット掘削工事に着手した。6月末より工場棟(一部)基礎根切掘削工事に着手した。 【法面保護工事】敷地法面の植生工事に着手した。	建設地では、施設本体建設工事が行われている。 【施設本体建設工事】杭工事、山留工事、ごみピット掘削工事が完了した。工場棟一階の躯体工事に着手した。 【法面保護工事】9月末に法面保護工事が完了した。	建設地では、施設本体建設工事が行われている。 【施設本体建設工事】プラント架構の建て方工事に着手した。	建設地では、施設本体建設工事が行われている。															

施工状況(1月～3月)

実施月	実施状況	写真
1月	実施なし	—
2月	実施なし	—
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事務所棟、プラットフォーム工区、ごみピット工区 エルニート 地盤改良</li> <li>・ 灰処理工区 排水処理水槽 配筋・型枠・金物設置・コンクリート打設 2Fデッキ敷設、コン止め溶接</li> <li>・ 炉室工区 墨出し・位置確認、各機器（焼却炉、 高圧蒸気だめ、低圧蒸気だめ他） 搬入・取込み・据付・調整</li> <li>・ 炉室工区 プラント架構 ボルト入れ、本締め、チェッカープレート敷設、 グレーチング敷設</li> </ul>	

◆施設建設工事中の施工業者による環境保全措置実施状況

調査年月日:2018年1月1日～3月31日

調査対象事項		関連項目	環境保全措置の内容	実施状況			添付書類	
				1月	2月	3月		
工事関係車両の走行	1	走行時間の分散	大気質、騒音、振動、触れ合い活動の場	工事関係車両の走行が集中しないよう走行の時期・時間の分散に努める。 特に朝の通学時間帯は極力避けるように配慮する。	-	-	○	写真1 参考資料1(非公開)
	2	交通規制等の遵守	大気質、騒音、振動、触れ合い活動の場	工事関係車両は、速度や積載量等の交通規制及び指定走行ルート、標示規制等を遵守するよう指導する。	-	-	○	写真1 参考資料1(非公開)
	3	アイドリングストップ・エコドライブの励行	大気質	工事関係車両のアイドリングストップ・エコドライブを徹底する。	-	-	○	写真1
	4	土砂運搬車両等のタイヤ洗浄	大気質	建設地から退出する工事関係車両等の洗車を適宜実施する。	-	-	○	写真2
	5	工事用車両出入り口の路面洗浄等	大気質	建設中の構内道路への散水や鉄板の敷設等を行う。	-	-	○	写真3
	6	土砂搬出車両荷台のシート掛け	大気質	土砂を搬出入する場合の車両荷台へのシートの敷設を行う。	-	-	-	-
	7	交通整理員の配置	触れ合い活動の場	スキー場の営業期間中については、必要に応じて交通整理員を配置するなど、出入口付近での車両の交錯を防止する。	-	-	○	写真4
	8	北パラダを利用する一般車両への配慮	触れ合い活動の場	スキー場の営業期間中については、来場者が多くなる土・日曜日の工事関係車両の走行を避けるように努める。	-	-	○	写真1 参考資料1(非公開)
建設機械の稼働	1	対策型建設機械の使用 (排ガス対策型、低騒音型、低振動型)	大気質、騒音、振動、動物、生態系、触れ合い活動の場	建設機械は、排出ガス対策型、低騒音型、低振動型の使用や低騒音型・低振動型工法の採用に努める。	-	-	○	写真5～10 参考資料1(非公開)
	2	建設機械稼働時間の抑制	大気質	建設機械は、アイドリングストップを徹底する。	-	-	○	写真11
	3	建設機械稼働時間の分散	騒音、振動、触れ合い活動の場	建設機械の稼働台数が集中しないよう工事の時期・時間の分散に努める。	-	-	○	写真11 参考資料1(非公開)

※実施状況欄 ○:実施 -:未実施(実施不要)

調査対象事項		関連項目	環境保全措置の内容	実施状況			添付書類	
				1月	2月	3月		
建設機械の稼働	4	工事区域の仮囲い・遮音壁の設置	大気質、騒音	建設地周辺へ工事用仮囲いを設置する。 必要に応じて対象事業実施区域境界に遮音壁を設置する。	—	—	○	写真12
	5	工事区域への散水等	大気質、植物、生態系	建設中の構内道路への散水や鉄板の敷設等を行う。 散水を実施することで、粉じんの発生を防止し、周辺に生育する植物への影響を低減する。	—	—	○	写真13
土地造成、掘削、樹木の伐採	1	安全な掘削方法の検討	地形・地質	掘削工法の検討に当たっては、土地の安定性に十分に配慮する。	—	—	—	—
	2	計画・設計時の配慮	地形・地質	施設計画において、安定計算の実施、マニュアル等に基づく適切な設計、浸食防止排水溝の設置等を行う。	計画時実施済み			—
	3		地形・地質	切土工事に際し、仮排水路への排水ができるようにし、沈砂池に集水して濁水の土砂を沈殿させてから放水する。	計画時実施済み			—
	4	工事計画の配慮	触れ合い活動の場	パラダの営業期間中の工事については、事業者と十分な協議を行い、スキー客への影響が極力小さくなるよう配慮する。	—	—	○	参考資料1(非公開)
	5	広範囲の裸地化の抑制	水質	段階的な切盛り工事の実施などの工事計画の検討により一時的な広範囲の裸地化を抑制する。	計画時実施済み			—
	6	工事区域外からの流入抑制	水質	工事区域の外周に仮設の雨水排水路を設置し、工事区域外からの雨水の流入を抑制し、濁水の発生量を低減する。	—	—	○	写真14
	7	造成工事の休止	水質	台風、集中豪雨等が予想される場合には、造成工事を行わない。	造成工事時実施済み			—
	8	造成面等からの濁水発生対策	水質	台風、集中豪雨等が予想される場合には、造成面、仮置き残土等へのシート、土嚢による養生等の対策を講じる。	—	—	○	写真15
	9	沈砂池等の設置、維持管理	水質	十分な貯留容量を有する沈砂池を設置し、雨水を一時的に貯留し濁水の土砂を沈殿させてから放流する。	—	—	—	—
	10	雨水排水の濁りの監視	水質	降雨時には速やかに雨水排水の濁りの状況を目視により確認し、濁りが認められた場合には濁水を沈降させ、上澄みを放流する。	—	—	○	写真16
	11	雨水排水の水温の監視	水質、植物、動物、生態系	排水温度の変化に伴う動植物への影響の可能性の観点から、放流水の水温について監視する。	—	—	○	写真17

※実施状況欄 ○:実施 —:未実施(実施不要)

調査対象事項		関連項目	環境保全措置の内容	実施状況			添付書類			
				1月	2月	3月				
土地造成、掘削、樹木の伐採	12	揚水量を低減する掘削工法等の検討	水象	揚水量を低減する効果的な掘削工法等を検討する。			計画時実施済み	—		
	13	止水壁等の設置による水位低下の防止	水象	止水壁を透水性の低い層まで設置する等により地下水位低下の防止を図る。			計画時実施済み	—		
	14	コナラ林の改変の回避	生態系	対象事業実施区域南側のコナラ林の改変を回避する。			計画時実施済み	—		
	15	対象事業実施区域境界の林縁保護	植物、動物、生態系	対象事業実施区域境界に適宜防風ネットや遮光ネット等を設置することで、樹林の保全を図る。			—	—	○	写真18
	16	対象事業実施区域周辺で営巣が確認された場合の工期変更等	動物、生態系	対象事業実施区域の近隣で希少猛禽類の営巣が確認された場合には、工事時期や手順、監視等について検討を行う。			—	—	—	—
	17	工事関係者への啓発(動植物等)	植物、動物、生態系	工事関係者及び作業員に対して、対象事業実施区域外への不用意な立ち入りや工事用車両の空ぶかしや急発進等による騒音の発生抑制などの指導を行う。			—	—	○	写真19 参考資料1(非公開)
舗装工事・コンク	1	中和処理	水質	アルカリ排水について、環境基準内(pH8.5以下)に中和処理を行った後排水する。			—	—	—	—
	2	水素イオン濃度の監視	水質	コンクリート工事に伴うアルカリ排水について、pH計を用いてpHの監視を行う。			—	—	○	写真20～21
発生土、建設廃棄物、伐採木	1	建設発生土の再利用	廃棄物等	掘削土砂については本事業の敷地内や他事業での再利用に努め、残土の発生を抑制する。			—	—	○	参考資料2(非公開)
	2	公共事業等での有効利用	廃棄物等	場外搬出する残土については、他の公共事業での有効活用を図り、処分量の低減を図る(受け入れ先は組合で決定)。			—	—	○	参考資料2(非公開)
	3	アスファルト・コンクリート塊、木くず、伐採木等の再生利用	廃棄物等	再利用の促進を図るため、アスファルト・コンクリート塊、木くず・伐採木等は可能な限り資源として再生利用する。			—	—	—	—
	4	現場での分別排出	廃棄物等	発生した廃棄物については、可能な限り現場で分別を行い排出する。			—	—	○	写真22
	5	適正な管理(土壌)	廃棄物等	自然由来により残土が汚染されている場合もあることから、処分方法に応じた適切な搬出土の管理を行う。			計画時実施済み			—

※実施状況欄 ○:実施 —:未実施(実施不要)



写真1

工事関係車両の走行  
 No.1  
 走行時間の分散  
 No.2  
 交通規制等の遵守  
 No.3  
 アイドリングストップ・エコドライブの励行  
 No.8  
 北パラダを利用する一般車両  
 への配慮

撮影日 2019/3/23



写真2

工事関係車両の走行  
 No.4  
 土砂運搬車両等の  
 タイヤ洗浄

撮影日 2019/3/26



写真3

工事関係車両の走行  
 No.5  
 工事用車両出入り口の  
 路面洗浄等

撮影日 2019/3/22



工 事 件 名 平成29年度 環境型社会形成推進交付金事業新庁舎庁舎-建設工事  
 工 種 環境保全  
 種 別 工事関係車両の走行 7  
 19.3月  
 交通整理員の配置  
 撮影年月日 2019/03/12 施 工 者 国産・中核的建設工事有限  
 会社

写真4  
 工事関係車両の走行  
 No.7  
 交通整理員の配置  
 撮影日 2019/3/12



工 事 件 名 平成29年度 環境型社会形成推進交付金事業新庁舎庁舎-建設工事  
 工 種 環境保全  
 種 別 建設機械の稼働 1  
 19.3月  
 (対策型建設機械の使用 排ガス対策型、低騒音型、低振動型)  
 撮影年月日 2019/03/12 施 工 者 国産・中核的建設工事有限  
 会社

写真5  
 建設機械の稼働  
 No.1  
 対策型建設機械の使用  
 (排ガス対策型、低騒音型、低振動型)  
 ラフタークレーン 25t  
 撮影日 2019/3/12



工 事 件 名 平成29年度 環境型社会形成推進交付金事業新庁舎庁舎-建設工事  
 工 種 環境保全  
 種 別 建設機械の稼働 1  
 19.3月  
 (対策型建設機械の使用 排ガス対策型、低騒音型、低振動型)  
 撮影年月日 2019/03/12 施 工 者 国産・中核的建設工事有限  
 会社

写真6  
 建設機械の稼働  
 No.1  
 対策型建設機械の使用  
 (排ガス対策型、低騒音型、低振動型)  
 ラフタークレーン 25t  
 撮影日 2019/3/12

 <p>工事件名 平成28年度 環境型社会形成推進交付金事業第97-707-建設工事  工 種 環境保全  種 別 建設機械の稼働 1  19.3月  (対策型建設機械の使用 排ガス対策型、低騒音型、低振動型)  撮影年月日 2019/03/12 施 工 者 有限会社環境建設事業部  (株) 建設</p>	<p style="text-align: center;">写真7</p> <p>建設機械の稼働  No.1  対策型建設機械の使用  (排ガス対策型、低騒音型、低振動型)  バックホー(0.45m<sup>3</sup>)</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2019/3/12</p>
 <p>工事件名 平成28年度 環境型社会形成推進交付金事業第97-707-建設工事  工 種 環境保全  種 別 建設機械の稼働 1  19.3月  (対策型建設機械の使用 排ガス対策型、低騒音型、低振動型)  撮影年月日 2019/03/12 施 工 者 有限会社環境建設事業部  (株) 建設</p>	<p style="text-align: center;">写真8</p> <p>建設機械の稼働  No.1  対策型建設機械の使用  (排ガス対策型、低騒音型、低振動型)  バックホー(0.45m<sup>3</sup>)</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2019/3/12</p>
	<p style="text-align: center;">写真9</p> <p>建設機械の稼働  No.1  対策型建設機械の使用  (排ガス対策型、低騒音型)  クローラークレーン 200t</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2019/3/18</p>

	<p style="text-align: center;">写真10</p> <p>建設機械の稼働 No.1 対策型建設機械の使用 (排ガス対策型、低騒音型)</p> <p>クローラークレーン 200t</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2019/3/18</p>
	<p style="text-align: center;">写真11</p> <p>建設機械の稼働 No.2 建設機械稼働時間の抑制 No.3 建設機械稼働時間の分散</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2019/3/23</p>
 <div data-bbox="213 1704 539 1924" style="background-color: #008000; color: white; padding: 5px;"> <p>工 事 名   平成28年度 橋梁型社会形成推進交付金事業(新外ヶ浦)建設工事</p> <p>工 種   環境保全</p> <p>種 別   建設機械の稼働 4</p> <p>19.3月 工事区域の仮囲い・遮音壁の設置</p> <p>撮影年月日   2019/03/12   施 工 者   有限会社 建設工事業 株式会社</p> </div>	<p style="text-align: center;">写真12</p> <p>建設機械の稼働 No.4 工事区域の仮囲い ・遮音壁の設置</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2019/3/12</p>

 <p> <b>工事件名</b> 平成28年度 環境型社会形成推進交付金事業新庁舎庁舎建設工事  <b>工種</b> 環境保全  <b>種別</b> 建設機械の稼働 5          19.3月          工事区画の散水等  <b>撮影年月日</b> 2019/03/22 <b>施工者</b> 有限会社環境建設工事科  <small>環境型社会形成推進交付金事業</small> </p>	<p style="text-align: center;">写真13</p> <p>建設機械の稼働 No.5 工事区域への散水等</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2019/3/22</p>
 <p> <b>工事件名</b> 平成28年度 環境型社会形成推進交付金事業新庁舎庁舎建設工事  <b>工種</b> 環境保全  <b>種別</b> 土地造成、掘削、樹木の伐採 5          19.3月          工事区域外からの流入抑制  <b>撮影年月日</b> 2019/03/23 <b>施工者</b> 有限会社環境建設工事科  <small>環境型社会形成推進交付金事業</small> </p>	<p style="text-align: center;">写真14</p> <p>土地造成、掘削、樹木の伐採 No.6 工事区域外からの流入抑制</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2019/3/23</p>
 <p> <b>工事件名</b> 平成28年度 環境型社会形成推進交付金事業新庁舎庁舎建設工事  <b>工種</b> 環境保全  <b>種別</b> 土地造成、掘削、樹木の伐採 5          19.3月          造成面等からの濁水発生対策  <b>撮影年月日</b> 2019/03/23 <b>施工者</b> 有限会社環境建設工事科  <small>環境型社会形成推進交付金事業</small> </p>	<p style="text-align: center;">写真15</p> <p>土地造成、掘削、樹木の伐採 No.8 造成面等からの濁水発生対策</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2019/3/23</p>



写真16

土地造成、掘削、樹木の伐採  
No.10  
雨水排水の濁りの監視

撮影日 2019/3/23



写真17

土地造成、掘削、樹木の伐採  
No.11  
雨水排水の水温の監視  
4℃

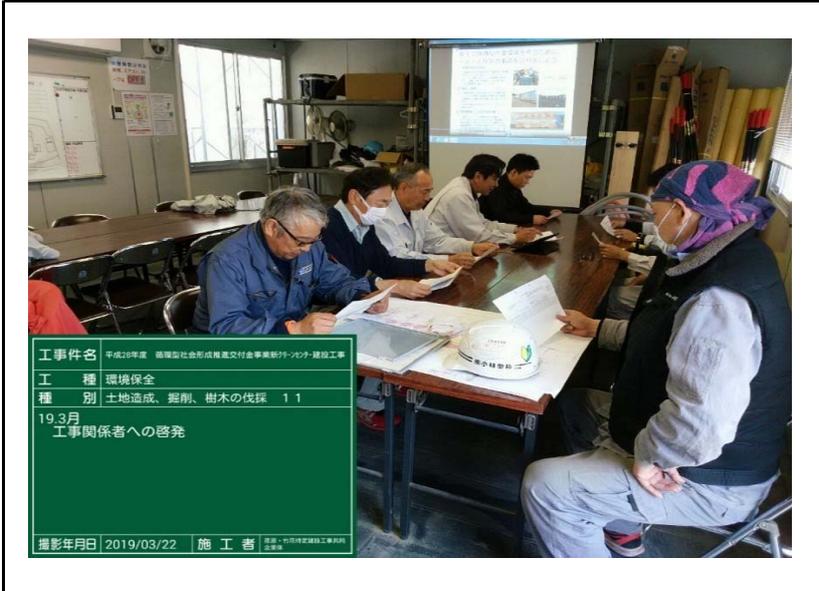
撮影日 2019/3/23



写真18

土地造成、掘削、樹木の伐採  
No.15  
対象事業実施区域境界  
の林縁保護

撮影日 2019/3/23



工事件名 平成29年度 環境型社会形成推進交付金事業第1号「ソフト」建設工事  
 工種 環境保全  
 種別 土地造成、掘削、樹木の伐採 11  
 19.3月  
 工事関係者への啓発  
 撮影年月日 2019/03/22 施工者 環境・社会型建設工事部

写真19

土地造成、掘削、樹木の伐採  
No.17  
工事関係者への啓発  
(動植物等)

撮影日 2019/3/22



写真20

舗装工事・コンクリート工事  
No.2  
水素イオン濃度の監視  
PH6.5(環境基準8.5以内)

LOTNo.70929024

撮影日 2019/3/23



写真21

舗装工事・コンクリート工事  
No.2  
水素イオン濃度の監視  
PH6.5(環境基準8.5以内)

LOTNo.70929024

撮影日 2019/3/23



写真22

発生土、建設廃棄物、伐採木  
No.4  
現場での分別排出

撮影日 2019/3/12